

>>>> 県有特許の活用促進について <<<<<

当センターでは、研究開発の成果や企業との共同研究の成果などを積極的に特許として出願しています。現在、47件の特許権を所有し、26件の特許を出願中です。

また、県では「鹿児島県知的財産戦略」を策定し、県有特許の活用を図ることとしており、「県が保有する特許の実施許諾や開放特許等についても積極的に情報提供等に努め活用を促進」しています。そこで、以下の9件の特許について、広く活用及び普及を図りたいと考えておりますので、関心のある方は、企画情報部までお問い合わせください。

紫イモを原料とする酒類の製造法

サツマイモの一品種である種子島紫またはその改良品種である紫イモの芳香と美しい色調を有し、紫イモに含まれている色素・デンプン・ミネラルなどを有効に利用したリキュールや赤色酒類を製造する方法に関する特許です。

○紫イモを原料とする赤色酒類の製造法
特許第1988368号 (平成7年11月8日)

○紫イモを用いたリキュールの製造方法
特許第1991440号 (平成7年11月22日)

ステンレス鋼表面の窒化処理方法

産業機械、装置等に使用されるオーステナイト系ステンレス鋼の耐摩耗性や耐久性を改善するための窒化処理方法に関する特許です。窒化処理前の酸洗処理や有害なガス雰囲気炉での加熱処理などを必要としない窒化処理方法です。

○オーステナイト系ステンレス鋼表面の窒化処理方法（鏡面加工後窒化処理）
特許第2916751号 (平成11年4月23日)

○オーステナイト系ステンレス鋼表面の窒化処理方法（粗面加工後窒化処理）
特許第2916752号 (平成11年4月23日)

長尺竹平板の製造方法

半割りまたはそれ以上に分割した縦割り竹材を連続的に加熱しながら展開し、幅広な長尺竹平板を製造する方法と装置に関する特許です。県立薩摩中央高等学校（旧宮之城農業高校）の床材として利用されています。

○長尺竹の切削加工方法および切削加工装置
特許第2124067号 (平成8年12月20日)

○竹材の肉厚決め方法および肉厚決め装置
特許第2124068号 (平成8年12月20日)

○湾曲板の展開装置および展開方法
特許第2124069号 (平成8年12月20日)

微細空隙を有するファインセラミックス焼結体およびその製造方法

微粒中空ガラス球状体とファインセラミックス原料との混合物を成形し、焼結した微細空隙を有するファインセラミックス焼結体および製造方法に関する特許です。

○微細空隙を有するファインセラミックス焼結体およびその製造方法
特許第2660383号 (平成9年6月13日)

プリント基板の誤動作箇所検出法

電子機器の回路実装プリント基板等において、外来電磁ノイズの影響を受けやすい場所を、効率よく見つけ出すための検出法及び検出装置に関する特許です。電磁波の影響を受けやすい部品や配線などを効率よく、再現性よく、検出できる検出法や装置を提供します。

○回路実装プリント基板の誤動作箇所検出法及び検出装置
特許第3209944号 (平成13年7月13日)

－研究成果発表会の開催－（霧島本庁舎，奄美分庁舎）

当センターは、研究の成果を広く県民の皆様に広報する目的で、平成22年度研究成果発表会を下記のとおり開催します。今年度は、霧島本庁舎と奄美分庁舎（旧 大島紬技術指導センター）の2会場で開催いたします。多数のご参加をお待ちしております。

参加お申し込みは、両会場とも、当センターのホームページ内の「お知らせ」より可能です。
URL <http://www.kagoshima-it.go.jp/>

－霧島本庁舎（7月15日 開催）－

県内企業との共同研究2テーマを含む口頭発表6テーマと、ポスターセッション18テーマについて発表します。

記

- 1) 開催日：7月15日(木) 13:20～17:00
- 2) 会場：工業技術センター霧島本庁舎
(大会議室)
- 3) 参加費：無料
- 4) 問い合わせ先：工業技術センター企画情報部
Tel：0995-43-5111
- 5) 口頭発表
 - 応力低減機構付与による圧造工具の革新的長寿命化
(共同研究：株式会社ユニオン精密，機械技術部)
 - モデル手法によるマグネシウム合金鍛造シミュレーション技術の確立 (素材開発部)
 - 静電気放電発生箇所検出技術の開発 (電子部)
 - 竹繊維を活用した高強度材料の開発
(化学・環境部)
 - 焼酎原料用サツマイモの簡易デンプン価測定装置の開発
(共同研究：株式会社A・R・P，食品工業部・電子部)
 - 発酵技術活用による菓子素材の開発
(食品工業部)

－奄美分庁舎（7月29日 開催）－

奄美大島に関連する、大島紬と奄美諸島の伝統文様、サトウキビ酢などの口頭発表を行います。

記

- 1) 開催日：7月29日(木) 13:30～16:20
- 2) 会場：工業技術センター奄美分庁舎
(旧 大島紬技術指導センター)
- 3) 参加費：無料
- 4) 問い合わせ先：工業技術センター大島紬部
Tel：0997-52-0068
- 5) 口頭発表
 - 大島絣文様集 Vol.1 「小柄」の編纂
(大島紬部)
 - 天然素材活用による絣織物の開発研究
(大島紬部)
 - 産地織物の多品種化に関する研究
(大島紬部)
 - 合成染料による小ロット染色技術の確立
(大島紬部)
 - 奄美諸島の伝統文様の図形化と用途展開に関する研究 (経過報告) (デザイン・工芸部)
 - 奄美群島における食品関連の技術普及事例
(食品工業部)

<表紙の説明>

屋久杉キーホルダー作成のための金型を、CAD/CAMとワイヤーカット放電加工機を用いて製作した事例です。CAD/CAMで加工プログラムを作成し、ワイヤーカット放電加工機で加工することで、微細で複雑な形状でも正確に加工することができます。

鹿工技ニュースNo.90

<http://www.kagoshima-it.go.jp/public/news/news90/>

編集 鹿工技ニュース編集委員会

発行 鹿児島県工業技術センター 2010年7月号 (年4回発行)

〒899-5105 鹿児島県霧島市隼人町小田1445-1

TEL 0995-43-5111 FAX 0995-64-2111

(禁無断転載)